

土岐川・庄内川流域治水シンポジウム 開催報告

令和4年1月31日

土岐川・庄内川流域治水協議会



みんなでももる土岐川・庄内川



土岐川・庄内川流域治水シンポジウム 開催報告



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

土岐川・庄内川流域治水協議会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

- 令和3年11月20日、流域住民の流域治水に対する理解を深めるため、シンポジウムを開催(約150名が参加)しました。
- 基調講演では、土岐川・庄内川の水害における気象的な特徴、注意が必要となる危険な気圧配置などを紹介しました。
- パネルディスカッションでは、事前募集した一般からの質問に答えるとともに、行政で実施できるハード面と地域住民も含めたソフト面の両立が必要不可欠であることや、都市計画と防災計画は別物ではなく手を組んでいくことが大事であること等の意見が出されました。
- 式典では、一般投票により決定した土岐川・庄内川流域治水ロゴマークを発表しました。

■ 日時：令和3年11月20日(土) 13:30～15:30

■ 場所：今池ガスホール(名古屋市千種区)

■ 主催：土岐川・庄内川流域治水協議会

■ 協賛：(一社)中部地域づくり協会

■ プログラム

オープニング

・土岐川・庄内川流域治水MOVIE

・挨拶 中田 英雄(名古屋市副市長)

堀田 治(国土交通省中部地方整備局長)

基調講演「近年の気象災害について」

・土井 邦裕(NHK名古屋放送局 気象予報士)

パネルディスカッション「土岐川・庄内川の流域治水の未来」

・コーディネーター…田中 逸人(NHK名古屋放送局 アナウンサー)

・パネリスト……岸田 晃彦(名古屋駅地区街づくり協議会 事務局長)

中田 英雄(名古屋市副市長)

長谷川 弘(庄内川・矢田川5学区水防連合会 会長)

秀島 栄三(名古屋工業大学大学院 教授)

古川 雅典(多治見市長)

蘆屋 秀幸(国土交通省中部地方整備局庄内川河川事務所長)

式典「土岐川・庄内川流域治水のロゴマーク発表」

■ その他参加者

清須市長(永田 純夫)、国会議員(熊田 裕通、古川 元久、丹羽 秀樹、安江 伸夫)、

愛知県議会議員(森井 元志、福田 喜夫)、清須市議会議員(高橋 哲生、大塚 祥之、加藤 光則) (敬称略)



基調講演



土井 邦裕
NHK名古屋放送局
気象予報士



パネル
ディスカッション



参加者からの声(アンケートから)

○ 一般市民向けで理解しやすくよかったと思う。

○ シンポジウムに参加して、流域治水のために沢山の方が様々な取り組みをされていることを知り、とても勉強になりました。一個人として何が出来るか考えて、行動につなげられたらと思っています。



ロビーでは土岐川・庄内川流域治水に関わるパネル展(東海豪雨から20年パネル等)を実施



みんなでももる土岐川・庄内川
土岐川・庄内川流域治水
ロゴマーク(最優秀賞)



土岐川・庄内川流域治水MOVIE(庄内川河川事務所YouTubeチャンネルにて公開中)



シンポジウム参加者からの声（アンケートから）



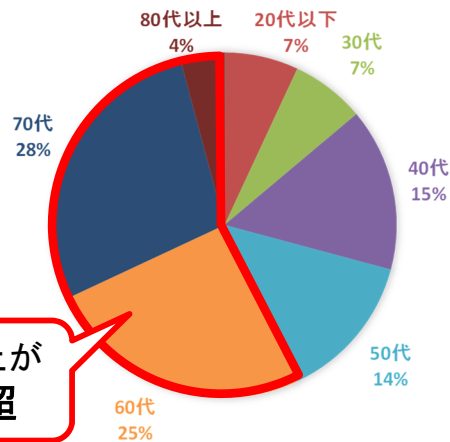
みんなであそぶ土岐川・庄内川

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

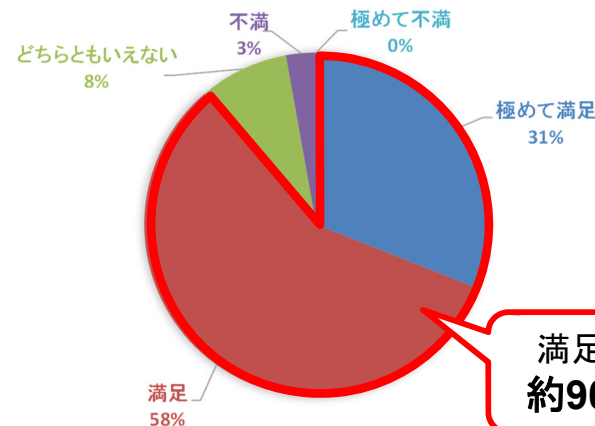
土岐川・庄内川流域治水協議会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

- シンポジウム参加者のうち、73名の方からアンケートに回答をいただきました。
- アンケート結果から、約90%の方からシンポジウムに対して満足、90%以上の方からシンポジウムに参加して土岐川・庄内川流域治水に対する理解が深まったとの声をいただきました。
- 来場された多くの方は流域治水に興味があり、プログラムの中ではパネルディスカッションや基調講演への関心があったとの回答を多くいただきました。
- 一方で、アンケートに回答していただいた方の半数以上が60代以上であり、若年層の関心を高めることが今後の課題です。

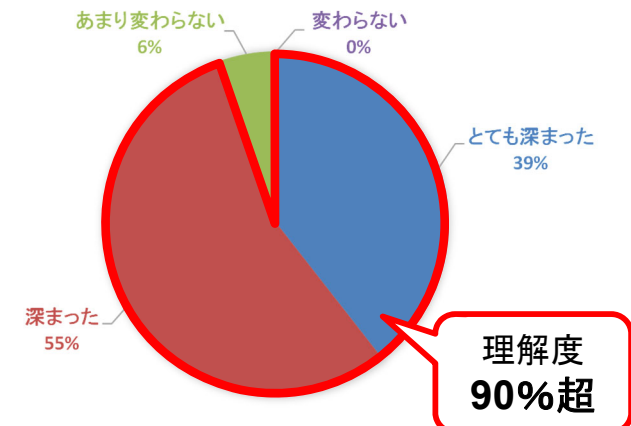
アンケート回答者 年代別



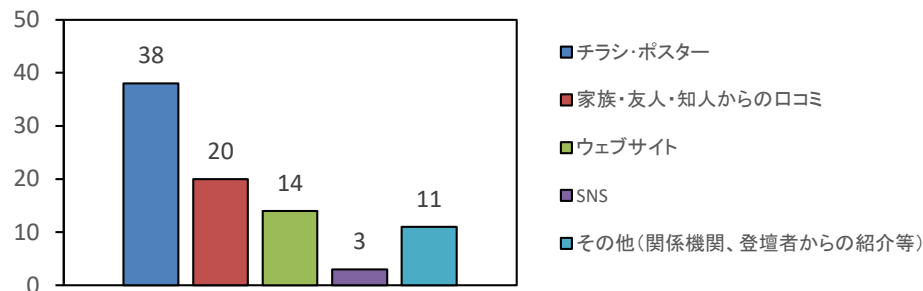
Q. シンポジウムに対する満足度は？



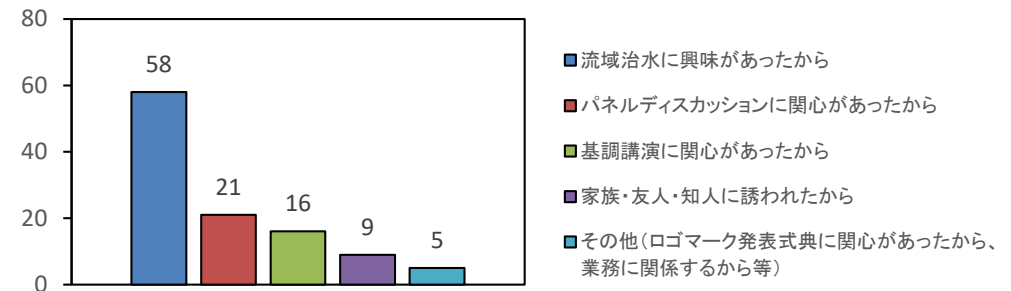
Q. シンポジウムに参加されて、土岐川・庄内川の流域治水に対する理解は深まったか？



Q. シンポジウムをどこで知ったか？（複数回答可）



Q. 来場した目的は？（複数回答可）



シンポジウム参加者からの声（アンケートから）



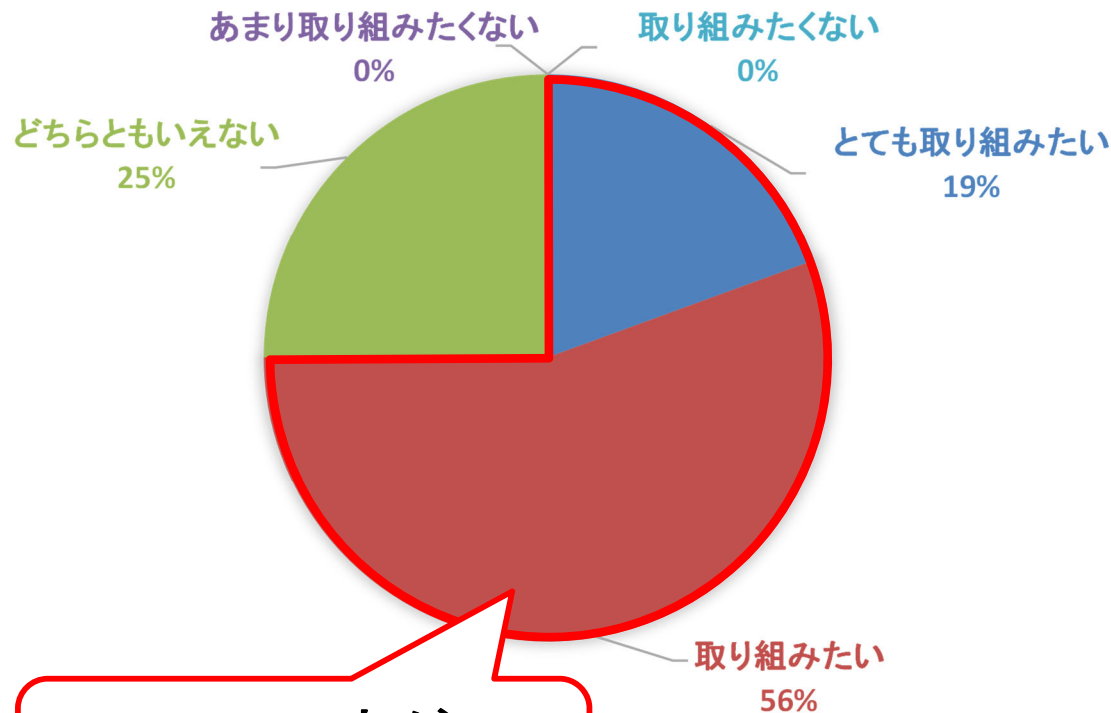
みんなが暮らす土岐川・庄内川

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

土岐川・庄内川流域治水協議会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

- アンケート結果から、75%の方からシンポジウムに参加して土岐川・庄内川流域治水の活動に取り組みたいですと思ったとの回答を得られました。
- 「とても取り組みたい」、「取り組みたい」と回答された方からは、具体的に取り組みたい内容について多くの声をいただきました。

Q. シンポジウムに参加されて、土岐川・庄内川の流域治水の活動に取り組みたいですと思いましたか。



**75%の方が
取り組みたいと回答**

＜取り組みたい内容＞

- ・ 散歩の際の堤防の異常確認。
- ・ あらかじめ、避難所の確保。
- ・ 新たな住民協力を考えたい。
- ・ ボランティア清掃活動への積極的な参加。
- ・ 地元団体で今日の内容を紹介。
- ・ 身近なところでの流出抑制。
- ・ 流域に住んでいるため、川の水質や状態を見守りたい。
- ・ 教育施設として市民と繋がる場づくり。
- ・ 流域治水に携わっている部署での勤務。堤防整備、河道掘削など。
- ・ 防災の観点から有事に備えて準備を進めたい。
- ・ 若い世代に対する水環境の啓発。
- ・ 流域住民の意識(災害に対しての)を高める。
- ・ マイタイムラインの作成。
- ・ 早期避難に取り組みたい。
- ・ 子供達と河川流域へ出て行き、現地と防災とは何かを体験させて行きたい。
- ・ 地域のコミュニティの活性化。課題をもって進めたい。
- ・ 水災害時には、自分の命は自分で守るを合言葉として活動を推進する。
- ・ 内水氾濫ハザードマップの確認、家族との避難情報の確認など。
- ・ 同じ地域の住民が安全になる為に助け合う。
- ・ 防災学習等への参加。
- ・ 住民にとっての気象情報の理解と利用の促進。
- ・ グリーンインフラへの参加。雨水貯留。
- ・ 自治体職員としてソフト面を強化したい。
- ・ 近所仲間作り。
- ・ ハザードマップの確認や、治水の取り組みのさらなる理解。
- ・ 自分の住んでいる地域、町内で防災や治水、ガサガサなどの教育等をしていける町内を作りたい。
- ・ 豪雨時には地下街に行かない。

など

シンポジウム参加者からの声（アンケートから）



みんなが暮らす土岐川・庄内川

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

土岐川・庄内川流域治水協議会は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

- シンポジウムに対する感想や意見及び土岐川・庄内川流域治水に関する意見を多くいただきました。
- いただいたご意見・ご感想は今後の流域治水の推進のために活用していきます。

＜シンポジウムの主な感想・意見＞

- ・ 分かり易い講演、様々な立場や視点からのパネラーの発言など、流域治水の理解が深まった。
- ・ オープニング映像から基調講演、パネルディスカッションと構成がとてもわかりやすく良かった。
- ・ こういった取り組みをしていることに対して素晴らしいと感じました。しかし、取り組んでいるのにもかかわらず正直なにを实践しているのかわからず、また現在の問題なども何かよくわかりませんでした。この問題があるからそれについてどうするかの話し合いとかあればよかったと思いました。また、横文字言葉が多く、パワーポイントなど使えばもっとわかりやすいのではないかと思います。議題に関しても面白く、関心を持ったのに少し残念でした。
- ・ ムービーがカッコよかった。
- ・ 一般市民向けで理解しやすくよかったと思う。
- ・ ハード面、ソフト面と色々の意見が聞けて勉強になりました。
- ・ 非常に進行もよく、NHKアナの進行で多くの関係者の意向など、わかりやすい内容でした。ただもう少し流域治水の今後の取り組みについての具体的な紹介が少しあると良かったと思います。
- ・ シンポジウムに参加して、流域治水のために沢山の方が様々な取り組みをされていることを知り、とても勉強になりました。一個人として何ができるか考えて、行動につなげられたらと思っています。
- ・ 新型コロナウイルス感染症対策がなされており、安心して講演に参加できました。
- ・ 土井さんの講演は専門家でも素人でもわかり易い内容でした。
- ・ 流域治水の考え方、シンポジウムで伺った話を大切な家族に伝えていきたい。ありがとうございました。
- ・ 流域に関する自治体の各考え方が、違うことに意義を感じました。自分達が良ければいいのではなく、全体でみんなで考えること。
- ・ 基調講演で身近な川の治水に対する危険性や、備えについて理解を深めることができ、大変わかり易く有意義だった。色々な方々の治水に対する質問と回答が興味深かった。

など

＜土岐川・庄内川流域治水に対する主な意見＞

- ・ 大雨は、洪水だけではなく、土砂崩れの被害も検討してほしい。
- ・ 自然を保ちながら防災に取り組んで下さい。
- ・ この様なシンポジウムを継続ください。
- ・ かなり多くの関係者が関わる取り組みで今回関係者の参加が多かったようですが、一般市民への周知ももっとして欲しいです。会合に土岐川観察館など今回はお話がありましたが、普及啓発にも環境、防災等色々なテーマの多くの施設が関わっていただけだと思います。今回はキックオフだと思いますので、今後はテーマを分けてシンポジウムや市民向けの取り組みなど期待します。
- ・ 小中学生への広がり、活動が必要である。
- ・ ハード整備は公共で、ソフト整備は地域で。地下街での防災訓練ができれば良いですね。
- ・ 流域が一体となったこういう取り組みは大変重要だと思います。その点、県がどう参加しているのか不明です。頑張ってください。
- ・ 何をやって、結果はこうなる等の理解を進めていただきたい。
- ・ 河川浚渫、整備計画をオープンにしてほしい。
- ・ 流域治水のメニュー、考え方を広める場を増やす必要がある。
- ・ 庄内川の河川底部の堆積する土砂の撤去を進める。河川敷付近にある雑木の撤去をする。水の流れを良くする対策を進めてほしい。
- ・ ハード整備の具体的年次目標を明確にすべき。
- ・ 名古屋の地下街などで入水を想定した避難訓練はしないのですか？
- ・ グリーンインフラの話もありましたが、この治水メンバーに土岐市、恵那市など上流の自治体も呼んで、山での植林なども進めてほしいです。
- ・ 今の人はスマホばかりの話を逆手にとってどこを見ると正しい情報が手に入るかをスマホ世代に伝えると良いと思った。
- ・ 教育の場に治水をもっと入れて、子供の時から川の良さ、悪さを教えるべきと思った。

など

土岐川・庄内川流域治水に関する質問への回答(案)



みんなが暮らす土岐川・庄内川

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

土岐川・庄内川流域治水協議会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

- 土岐川・庄内川流域治水協議会は、令和3年9月頃に土岐川・庄内川流域治水についての質問を一般募集しました。
- いただいた質問の一部は、令和3年11月20日開催の土岐川・庄内川流域治水シンポジウムでのパネルディスカッションで紹介しました。
- いただいた質問及び回答(案)は、以下のとおりとなります。これらの質問を踏まえて、今後の流域治水の推進に努めます。

	質問	回答(案)
1	庄内川流域治水に関するシンポジウム、一般の方にとって治水事業をどうやって進めているのか、理解が十分ではない面が多いと考えております。 そして地域の守り手としての「建設業」を一般の方に広くアピールする必要性も。その意味でもシンポジウムを一つの機会ととらえ、紙面を活用した定期的な広報も検討いただければ幸いです。	○今後とも土岐川・庄内川流域治水の取り組みを広く理解してもらうため、広報についても積極的に取り組んでいきたいと考えております。
2	私は家の近くの川の研究をしています。 住宅街の中を流れる小川ですが、うなぎやヨシノボリなど愛知県にもともと住んでいる魚がたくさん取れます(観察後、在来種は逃がします)。 そこで質問です、治水をすることで、うなぎやアユなど川と海を行き来している魚達に、悪い影響は無いのでしょうか？	○治水事業を行えば、河川環境へ影響を与える可能性があります。 ○従って、河川環境への影響に配慮することは、治水事業を進める上で非常に重要な観点であると認識しています。 ○庄内川河川事務所では、例えば河口部の藤前干潟において河川整備を行う場合は、飛来する渡り鳥に配慮した施工時期の調整をしています。また、河道掘削を行う場合には底生動物への影響を確認するための継続的なモニタリング調査を実施しております。 ○モニタリング調査によれば、底生動物は掘削直後に一時的に個体数は減少するものの、翌年には回復する傾向が確認されています。 ○また、土岐川では礫河原再生により、浅瀬に生息するアカザの個体数の増加が確認され、矢田川ではワンド整備により、水生生物の個体数の増加が確認されています。 ○このような取組も引き続き実施していきたいと考えています。

土岐川・庄内川流域治水に関する質問への回答(案)



みんなが暮らす土岐川・庄内川

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

土岐川・庄内川流域治水協議会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

- 土岐川・庄内川流域治水協議会は、令和3年9月頃に土岐川・庄内川流域治水についての質問を一般募集しました。
- いただいた質問の一部は、令和3年11月20日開催の土岐川・庄内川流域治水シンポジウムでのパネルディスカッションで紹介しました。
- いただいた質問及び回答(案)は、以下のとおりとなります。これらの質問を踏まえて、今後の流域治水の推進に努めます。

	質問	回答(案)
4	土岐川・庄内川には、使用されなくなった「多治見水道取水堰」や「山西用水堰」のように建設当時と比較して99%以上の水田が宅地化によって消失し、用水の利用量が激減している堰が存在します。これらの堰は、洪水時の流下阻害になるため、撤去や取水方法の見直し等の対策が必要かと思いますが、現在の財政状況では堰管理者だけで使われなくなった堰の撤去費用を捻出することが難しいと聞いております。 流域治水の観点から、堰の撤去が洪水対策に貢献するのであれば、これまでの概念に捉われず、国等の洪水対策予算を堰の撤去費用に充てるなどの予算措置は現状の制度でも可能でしょうか？ 今後、洪水対策に繋がるのであれば、柔軟に予算が充てられるような制度を設けていただきたい。	○堰等の改築・撤去については、その管理者が実施することが原則となります。 ○改築・撤去費用に対する支援制度があれば、土岐川・庄内川流域治水協議会の場を通じて紹介していきたいと考えております。
5	枇杷島が出来ていないのに上流を整備すると上流であふれなくなる分枇杷島が危険になるのではないですか。それとも枇杷島が完了するまで上流は整備しないんですか。	○枇杷島の狭窄部対策については、国・県・市・民間企業が連携し、橋梁の架け替え等を鋭意実施しているところです。 ○枇杷島の狭窄部の上流側の整備については、下流の安全度に負荷をかけない範囲で、橋梁架け替えの各段階や河道掘削等の整備の進捗に合わせて、順次進めていく必要があると考えております。
6	近鉄や名鉄などその他の橋梁は高さ、幅的に大丈夫なんですか。大丈夫じゃないとすると改築はいつ頃を予定していますか。	○土岐川・庄内川は、道路橋や鉄道橋など多くの橋梁が設置されており、桁下高不足や径間長不足など現在の河川管理施設等構造令等の技術的な基準を満たしていない橋梁があります。 ○橋梁の架け替えについては、河川改修との時期に合わせて、適切な対策を検討し、施設管理者と調整しながら進めていく必要があると考えております。

土岐川・庄内川流域治水に関する質問への回答(案)



みんなが暮らす土岐川・庄内川

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

土岐川・庄内川流域治水協議会は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

- 土岐川・庄内川流域治水協議会は、令和3年9月頃に土岐川・庄内川流域治水についての質問を一般募集しました。
- いただいた質問の一部は、令和3年11月20日開催の土岐川・庄内川流域治水シンポジウムでのパネルディスカッションで紹介しました。
- いただいた質問及び回答(案)は、以下のとおりとなります。これらの質問を踏まえて、今後の流域治水の推進に努めます。

	質問	回答(案)
7	市街化が進んで流出量が増えた分を川で何とかするのは対処療法であって、本来は上流で浸透、貯留、山林保水をしっかりやって市街化される前の流出量に減らすという根本治療が必要なのではないですか。 それができれば、下流の高台まちづくりなどの対策の必要性は下がるのではないですか。	○土岐川・庄内川の流域では、ため池や雨水貯留浸透施設等による流出抑制対策や森林保全に取り組んでおり、庄内川水系流域治水プロジェクトの対策のひとつに位置づけています。 ○一方で、近年毎年のように日本各地で、これまで経験したことのないような豪雨が発生し、深刻な災害が発生しているなど、気候変動による水災害リスクが増大しています。 ○こうしたリスクに対応するためには、浸水被害を軽減するため、高台まちづくり等の施策も合わせて実施していく必要があると考えています。
8	今、東海豪雨が再来すると、水位や橋梁でのせき上げ、新川への影響などの安全面は当時と比較してどう変わっていますか。	○東海豪雨以降、庄内川では、出水時に越水していた国道1号一色大橋の架け替え・堤防整備や河道掘削及び堤防が決壊した新川への負担を軽減するための洗堰かさ上げの対策を実施し、治水安全度は向上してきたところです。
9	生まれてからずっとここに住んでおり、庄内川を見てきました。 現在は不動産業をしており、お客様から庄内川は大丈夫ですか？とよく聞かれますが、大丈夫です！と明確に言えないわたしがいます。 現在、庄内川の治水事業はどうなっているのか？また、どこが問題があり、今後どのように取り組んで行く予定のかを、庄内川周囲の不動産を購入する人に説明できるようにになりたいです。	○ただし、庄内川においては、洪水の流下に支障をきたしている枇杷島地区の狭窄部があるなど、安全度は十分ではなく、再び東海豪雨と同じような大雨となった場合には、庄内川本川においても堤防決壊のリスクがあります。 ○そこで、河道掘削工事のほか、狭窄部となっている枇杷島地区の堤防整備及び、堤防整備に伴って必要な橋梁架け替え工事を進めています。 ○なお、堤防決壊した場合のリスクについては、河川管理者が提供している洪水浸水想定区域図や地点別浸水シミュレーション検索システム(浸水ナビ)をご確認ください。